

ArtemiS SUITE
Signal Processing

Code 51702

ASP 702 MDM 録音

ArtemiS SUITE の MDM 録音を用いて、openMDM[®] 測定タスクを素早く簡単にステップバイステップで実行することができます。

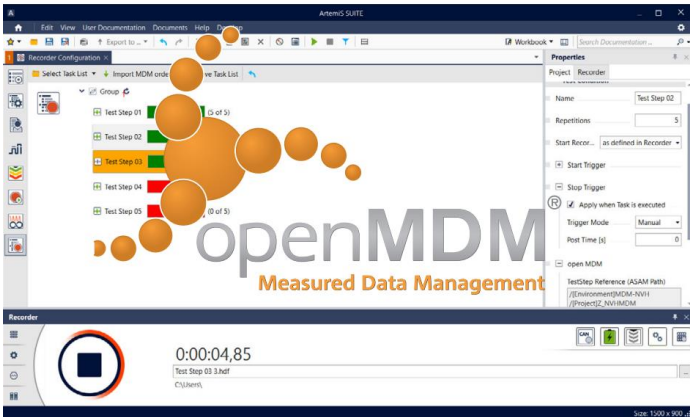
概要

ASP 702 MDM 録音

Code 51702

MDM録音により、ArtemiS SUITEのRecorderを用いて openMDM®測定タスクを簡単に実行できます。

Recorderのタスクリストは、例えば、品質標準規格要件に準拠した一連のテストを実施する際、標準化された方法でテストするのに便利です。これにより、openMDM®録音データの生成と段階的な実行、そしてそれに伴う文書化が容易になります。



フィーチャー

ArtemiS SUITEのRecorderのタスクリストでopenMDM®測定タスクを実行

測定タスクを実行する為、openMDM® XMLタスクファイルから Recorderタスクリストを自動生成

単一テスト条件の録音の実行に優れた柔軟性を発揮

文書化

- XMLタスクファイルでインポートされる単一のテスト条件を記述する openMDM®文書
- Recorderタスクリストにより文書の編集が可能
- 追加の文書テンプレートの簡単作成

要件:

- Recorder (APR 040が必要です。)
- 標準化テストプロジェクト (APR 220が必要です。)

アプリケーション

- 測定タスク、テスト条件、文書を含む完全なopenMDM®タスクリストの自動生成
- openMDM®録音のガイダンスによりステップバイステップの実行

openMDM®測定のプロセス

MDM録音により、ArtemiS SUITEのRecorderでopenMDM®測定タスクを簡単に実行できます。

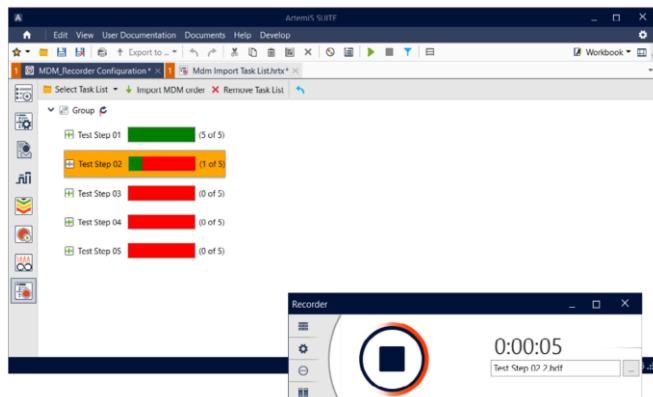
ユーザーは、openMDM®の測定タスクを含んだXMLタスクファイルをワンクリックでRecorderにインポートできます。インポートしたタスクファイルにはそれぞれの関連文書も含まれます。Recorderは、測定タスク、テスト条件、XMLタスクファイルに含まれる文書を含む完全なタスクリストを自動生成します。

Recorderタスクリストは、openMDM®測定の実行を容易にし、各テスト条件の進行状況を視覚的に表示します。

各テスト条件の文書は編集可能で、実行された録音データと共に保存でき、測定結果を別のopenMDM®アプリケーションに活用することができます。

Recorderタスクリストは、柔軟に構成可能です。必要に応じて、繰り返し測定やテスト条件の調整等の計画外のステップも実行可能です。

openMDMは、Eclipse Foundation, Inc.の登録商標です。



わかりやすい構成のRecorderタスクリストで測定の進捗管理ができます。

要件 :

- > APR Framework (Code 50000)
- > APR 040 Recorder (Code 50040)
- > APR 220 標準化テストプロジェクト (Code 50220)



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話 : 045-340-2236
Eメール : headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト : www.head-acoustics.com